

Rotary WEEKLY REPORT



会長 築瀬 敦

国際ロータリークラブ第2730地区
日南ロータリークラブ



= 築瀬 敦会長スローガン =

“ロータリーのマジックを信じ 地域にマジックを掛けよう”

■例会日:毎週水曜日 12:30~ ■例会場:ホテルシーズン日南
■事務局:日南市岩崎3丁目4番地1-2号 Itten堀川ビル2F 創客創人センター内
TEL:0987-22-3363 FAX:0987-22-3515

第3383回例会	No.2	2024.7.10	
点鐘・ロータリーソング	18時30分	「奉仕の理想」	
四つのテスト		豊田裕康 君	
ゲスト	峰松俊夫ガバナー補佐(日南ロータリー)		
例会行事	クラブ協議会・ガバナー補佐公式訪問例会		

委嘱状交付

2024-2025年度国際ロータリー第2730地区

ガバナー補佐(宮崎県南部グループ)
地区ラーニング委員会 委員
RLI委員会 委員
ガバナー月信委員会 委員
拡大委員会 委員
会員増強委員会 委員
地区運営委員会

上記を峰松俊夫君へ委嘱



会長時間



7月3日に新紙幣が発行されました。1万円札は福沢諭吉から渋沢栄一に、5000円札は樋口一葉から津田梅子に、1000円札は野口英世から北里柴三郎へと変更になりました。お札の歴史は、慶長年間の関ヶ原の戦い(1600年)の頃に、伊勢商人の間で、「山田羽書(やまだはがき)」が流通しこのお札が最初のお札とされるそうです。

寛文元年（1661）には、越前福井藩で初めて「藩札」発行されました。江戸幕府に代わり明治政府が誕生した慶応4年（1868）、日本で初めての全国通用の政府紙幣「太政官札（だじょうかんさつ）」発行されました。

明治3年（1870）に、単純な製法のため偽造券が多発した太政官札にかわる「新紙幣（ゲルマン紙幣）」の製造をドイツに依頼して明治5年発行されました。しかし次の年の明治4年（1871）には「国立銀行紙幣（旧券）」の製造をアメリカに依頼し明治6年発行されました。このころに新貨条例が公布され両から円の単位に変更され十進法が採用されました。明治10年（1877）に国産第1号の洋式紙幣「国立銀行紙幣（新券）」が発行されました。イタリアの版画家であるキヨッソーネが日本で初めて彫刻した紙幣だそうです。明治14年（1881）には、初めての肖像入り「改造紙幣」が発行され、神功皇后（じんぐうこうごう）像が肖像に使われたため「神功皇后札」と呼ばれました。この後の明治期にもまだまだ歴史はありますが、昭和以降に発行されたお札についてお話しします。昭和21（1946）年2月25日に発行されましたA百円券は表（おもて）面には聖徳太子（しょうとくたいし）が描かれています。昭和26（1951）年12月1日に発行されたB五十円券は表（おもて）面に高橋是清（たかはしこれきよ）、裏面には日本銀行が描かれています。昭和28（1953）年12月1日にはB百円券が発行され、表（おもて）面には板垣退助（いたがきたいすけ）、裏面には国会議事堂が描かれています。このお札は見たような気がします。昭和49（1974）年8月1日まで使用できたようです。昭和26（1951）年4月2日にB五百円券が発行され、表（おもて）面には岩倉具視（いわくらともみ）、裏面には富士山が描かれています。昭和25（1950）年1月7日にB千円券、表（おもて）面には聖徳太子（しょうとくたいし）、裏面には法隆寺夢殿が描かれています。昭和44（1969）年11月1日にC五百円券、表（おもて）面には岩倉具視（いわくらともみ）、裏面には富士山が描かれています。平成6（1994）年4月1日まで使用できたようです。昭和38（1963）年11月1日にC千円券。表（おもて）面には伊藤博文（いとうひろぶみ）、裏面には日本銀行が描かれています。このC五百円券、C千円券は、鮮明に記憶に残っています。お年玉の中身はどちらかだったため、中身を確認して一喜一憂したことを懐かしく思います。次の昭和32（1957）年10月1日に発行されたC五千円券ですが、表（おもて）面には聖徳太子（しょうとくたいし）、裏面には日本銀行が描かれているんですが、昭和61（1986）年1月4日まであったようなのに、このお札は私はあまりおぼえていません。聖徳太子の五千円券であったっけという感じです。この五千円券と同じころの昭和33（1958）年12月1日にC一万円券が発行され、表（おもて）面には聖徳太子（しょうとくたいし）、裏面には彩紋が描かれています。こちらも昭和61（1986）年1月4日まで使用されました。何故かこちらの一万円券は物凄く覚えています。不思議です。この後はみなさんも記憶にあると思いますが昭和59年から夏目漱石の1000円札、新渡戸稻造の5000円札、そして、福沢諭吉の10000円札が平成19年まで使用されました。平成になり、平成16年の11月から、野口英世の1000円札、樋口一葉の5000円札、そしてまた福沢諭吉の10000円札となります。今回の新紙幣発行は20年ぶりと言われていますが、肖像画に関しては福沢諭吉は2回連続となってまして10000円札に関して肖像画の人物は40年ぶりの変更となります。これからは、キャラクタレスがますます進んでいくと思われますので新紙幣の発行は最後ではないかと言われています。ピン札を取っておくと財産になるかもせませんね。よいよスタートです。快晴に恵まれた新年度のスタートが奇しくも新札の発行日と重なり気分新たに会長年度を開始できることをうれしく思います。

«学びて思わざれば則ち罔し。思いて学ばざれば即ちあやうし»

他から学ぶだけで自ら思案することができなければ、物事の道理をはつきりとつかむことができない。自分で思索ばかりしていて他から学ぼうとしなければ、独りよがりに陥って危険だ。という意味の論語の中の言葉です。この言葉を念頭に置き、この一年、他から学ぶことが多くあると思いますので、それを自らの頭で考え思案することでしっかりと理解していこうと思っています。そして、自分の考えが行き詰ったときには皆様の意見を求め、学びながら会長職を務めてまいります。

幹事報告

1. 日南市より「道路ふれあい月間」道路愛護デーの参加について、参加要請がきております。
参加の可否について、別紙にご記入願います。
2. 公益社団法人日本青年会議所 九州地区宮崎ブロック協議会より、JCフェスタ IN 日南への出席お礼の文書が届いております。
3. 一般社団法人 比国育英会バギオ基金より“バギオだより” 7月号が届いております。
4. ガバナー月信についてのご案内
5. 大阪万博のご案内

例会行事

○クラブ協議会

クラブ管理運営委員会 委員長：西島元利 副委員長：豊田裕康

〈例会運営委員会〉 委員：花盛和也、黒武者和浩、富松正哉

活動の基本方針

1. クラブを活性化するための内容ある楽しいプログラムを充実させる
2. 例会出席率向上の為の出席の奨励を行う

活動計画の具体案

1. プログラム

- ① 今年度は会員卓話を充実させることを目標にし、結婚誕生卓話以外に会員卓話として一人 10 分程度の時間をとって、各委員会の事業・趣味等につき自由に卓話をしてもらう
- ② ゲスト卓話については、委員以外からも推薦を募って会員が興味をもつような卓話を実施する
- ③ ロータリー月間の担当委員長による卓話を実施する
- ④ 地区大会、地区研修協議会終了後の出席者による報告を実施する

2. 出席

- ① 例会終了後の出席状況の報告を実施する
- ② 100%出席者への表彰を実施する
- ③ 地区大会・地区研修協議会等の地区行事への出席の奨励

④ 委員による例会開始 30 分前からの受付を実施する

⑤ 例会欠席連絡徹底の奨励

予 算

1. ゲスト卓話 8回謝礼 4,000円 × 8回	32,000円
2. 100%例会出席者記念品 26名(予定) × 3,000円	78,000円
3. 予備費	8,000円
合計 118,000円	

クラブ管理運営委員会 委員長：入中英雄 副委員長：榎木田大資

〈親睦委員会〉 委 員：西島元利

活動の基本方針

ロータリー奉仕活動の支援、家族を含めての会員間の交流、情報交換を目的とし、友情と親睦を深めることに努める。親睦は、例会出席率の向上につながり、情報交換は何かを学び取るという自己研鑽につながるものである。今年度も引き続き新たな気持ちで、ロータリー活動に邁進できるように会員間の親睦を深めるよう努める。

活動計画の具体案

※座席は例会時にその都度抽選で決める。例会運営委員会にお願いする。

※誕生日・結婚記念日のお祝いに記念品を贈呈する。

※サマー親睦会の実施 8月28日 18:30 ホテルシーズン日南

※家族アワーの実施 12月11日 18:30 ホテルシーズン日南

※新年会の実施 1月8日 18:30 ホテルシーズン日南

※観桜会の実施 3月26日 18:30 ホテルシーズン日南

予 算

※誕生日・結婚記念日のお祝い記念品	各 2,000円 × 30名 × 2名	120,000円
※サマー親睦会の実施	4,000円 × 30名	120,000円
※家族アワーの実施	4,000円 × 30名	120,000円
※新年会の実施	4,000円 × 30名	120,000円
※観桜会の実施	4,000円 × 30名	120,000円
※飲み物代予備費		20,000円
		合計 620,000円

クラブ管理運営委員会 委員長：田島逸男 副委員長：野崎正彦

〈R情報委員会〉 委 員：土屋昭次

活動の基本方針

1. 入会予定者（会員候補者）にロータリークラブ会員の特典と責務に関する情報を提供する。

2. 新入会員はもとより会員へロータリーの楽しさ、歴史、奉仕の理念、目的、会員としての責務をわかりやすく情報提供し、ロータリー会員としての知識を深めてもらう。、友情と親睦を深めることに努める。

活動計画の具体案

1. 前年度作成した日南ロータリークラブの用語集（通称赤本）を基に会員への周知を図る。
2. 空き時間が発生したら情報委員を指名して貰いロータリー用語集の解説をする。
3. 情報集会を複数回開催
4. その他
 - ① 会長及び理事会からの諮問事項に対応する。
 - ② 「奨学会わかば」委員会や財団と連携して周知を図る

予 算

600,000 円

会員増強委員会 委員長：榎木田大資 副委員長：甲斐信之

〈会員増強委員会〉 委 員：富松正哉

活動の基本方針

会員増強はロータリーの重要な課題であり、会員一人ひとりの協力が求められます。また、ロータリー活動を通して成長の機会にもなります。会員基盤がしっかりととしていれば、奉仕活動の可能性も広がり地域も元気になります。会員増強のアプローチを最近の傾向や変化を認識し、それに沿った行動計画を立て行動します。

活動計画の具体案

1. 3名増強（内女性1名）
2. 現会員への新会員勧誘活動の奨励
3. 候補者への情報収集（商工会議所青年部等）
4. 女性会員の勧誘
5. 未充填会員の発掘（職業分類上）

予 算

10,000 円

広報委員会 委員長：菊池希樹 副委員長：河野通郎

〈雑誌会報広報委員会〉 委 員：齋藤奈々

活動の基本方針

- ・ロータリアンとしての三大義務の一つである「ロータリーの友」の購読の奨励
- ・毎例会、各委員会事業等の活動を記録に残す
- ・日南ロータリークラブの活動情報をクラブ内外に効果的に発信し、広報活動に努める

活動計画の具体案

- ・「ロータリーの友」発行時に例会にて見どころを紹介する
- ・週報の発行
- ・行政、地元マスメディアとの懇談会の実施
- ・行政、地元マスメディアへ日南ロータリークラブ事業活動の情報提供

予 算

30,000 円

奉仕プロジェクト委員会 委員長：齋藤奈々 副委員長：村社浩二

〈職業奉仕委員会〉 委 員：入中英雄、齊藤篤史

活動の基本方針

ロータリーは、職業を通じ社会に貢献することを目的とした組織である。そのことを深く理解し、職業上の高い倫理基準を保ち職業を通じて社会に奉仕する。日々の研鑽を続け、各々の職業が高潔なものとなる様に努力するロータリアンを目指す。

活動計画の具体案

1. 例会において4つのテストを唱和する。
2. 職業奉仕月間に職場訪問を実施する
3. 会奉仕委員会と協力して翡翠賞受賞者を選定する。

予 算

職場訪問 10,000 円

翡翠賞 30,000 円

合計 40,000 円

奉仕プロジェクト委員会 委員長：井野畠善順 副委員長：古澤昌子

〈社会奉仕委員会〉 委 員：小玉 淳

活動の基本方針

ロータリアンのすべてが、その個人生活、ロータリー活動において、奉仕の理想を適用する事を奨励、実践する事を基本方針とします。

活動計画の具体案

1. 環境美化運動（道路清掃）
2. 翡翠賞の選考（社会貢献活動の顕著な団体もしくは個人の表彰）
3. 地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアン個人にとって、自身に値することであり、社会的責務であることを自覚する。
4. ロータリーデにおいて、南部グループ3クラブ合同の清掃奉仕活動を行う。

予 算

30,000 円

奉仕プロジェクト委員会 委員長：日高章太郎 副委員長：鬼束忠男

〈国際奉仕委員会〉 委 員：落丸正博

活動の基本方針

ロータリアン同士の相互理解により、他国の人々とその文化や習慣、功績を鑑み国際理解、親善平和を推進する。

活動計画の具体案

1. 日南ユネスコ協会他、日南地区における留学生の受け入れ等、外国人との交流を行う。
2. 委員会アワーで卓話を行う。

予 算

50,000円

奉仕プロジェクト委員会 委員長：花盛和也 副委員長：竹井崇利

〈青少年奉仕委員会〉 委 員：峰松俊夫

活動の基本方針

「青少年育成プロジェクトの開催」若者の夢希望を育てていく

活動計画の具体案

1. 高校生就職支援セミナーの開催
日南振徳高校の商業マネジメント科、ITソリューション科の3年生を対象に、8月31日(土)に開催する。
2. 少年野球大会の開催
開催日：令和6年11月を予定 ボールとメダルを協賛する。

予 算

職業支援セミナー 30,000円

少年野球大会 50,000円

合計 80,000円

ロータリー財団委員会 委員長：竹井崇利 副委員長：清水満雄

〈ロータリー財団委員会〉 委 員：渡邊眞一郎

活動の基本方針

国際ロータリーの事業を支援するため、財団への寄付を奨励し世界平和のための財団活動の理解と協力をお願いする。また、米山奨学会の目的を再考し、会員への理解と協力を推進していく。「わかば奨学会」に理解と協力をお願いする。

活動計画の具体案

- ・100万ドルランチを月に1回実施し、地区に寄付する。
- ・ロータリー財団に会員一人\$100を寄付する。
- ・米山奨学会に一人3000円を寄付する。
- ・「わかば奨学会」に一人5,000円を寄付する
- ・「わかば奨学会」の2025～2026年度地区補助金を申請する。
- ・「わかばランチ」を月1回実施し、「わかば奨学会」に寄付する。
- ・地区開催による「財団セミナー」に参加しました。

予 算

0円

○ガバナー補佐アドレス

峰松俊夫ガバナー補佐



そもそもアドレス (Address) とは何かということですが、Address の「ad」には～向ける、「dress」には言葉を向ける」という意味があります。したがって、郵便物を差し向けるところが「住所」です。アドレスには聴衆に言葉を向ける「あいさつ、講演、演説」の意味があります。ちなみに愛の言葉を向ければ「プロポーズ」という意味も生じます。今回は皆様に言葉を向けさせていただきます。

2024-25 年度の国際ロータリー (RI) のテーマは "The Magic of Rotary" です。このテーマの由来については「ロータリーの友」今月号に詳細に記されています。残念ながら、次年度から RI テーマは出されない予定です。したがって、この" The Magic of Rotary" が最後の RI テーマとなると思われます。" The Magic of Rotary" のロゴには 4 つの流れ星があります。最も大きなオレンジ色の星の色名は "Satsuma (温州みかん)" です。最後の RI テーマにおいて、RI 第 2730 地区に関係する色が使われたのが印象深いです。

さて、7 月 7 日日曜日にローターアクト地区協議会（霧島市）に参加しました。ローターアクトクラブはロータリークラブと同格に扱われています。各クラブからクラブの今年度事業計画の報告がありました。内容を聞くに、全てのクラブを楽しむ事を前提にした報告でした。ローターアクトクラブで出会った男女が生涯のパートナーとなることもあるようで、思わず「若い！」と感じてしまいました。

RI 第 2730 地区のローターアクトクラブの今年度テーマは「スクラム」と発表されました。スクラムはラグビーにおけるセットプレーの一つです。ラグビー自体のプレー精神が "All for One, One for All (全員はひとりのために、ひとりは全員のために)" です。今年度テーマを「スクラム」としたからには、ローターアクトクラブでは「会員が一人も抜ける事を良しとしない、クラブ全員がその会員一人を支える」という意味が込められていると考えました。

また、「スクラム」はトヨタ自動車の会社における PDCA 戦略としても知られ、ロータリーのクラブリーダーシッププランでも PDCA の手法が利用されています。P は Plan (企画)、D は Do (実施)、C は Check (検証)、A は Action (改善・対策) です。Action の類語の Active には活発化という意味です。活発化するということは、衰退しないことであり、長く続けるという意味が含まれます。すなわち、継続のためには日々の問題に対策していくことが必要であるということになります。

日南 RC を長く続けるためどうするのか。先ほど、クラブ協議会やクラブフォーラムの機会を増やそうとの意見がありました。やはり会員の皆さんと考えを述べる・聞く機会は欲しいと考えます。理事・執行部は会員達の意見を練り上げてクラブの活性化に繋げてほしいです。

最初に Address の語源、「ad」は～に向ける、「dress」は言葉を向ける」の意味がある事を伝えました。自分に言葉を向けることは、本気でするという意味になります。" I address myself to enjoy our RC. " 「我々のロータリークラブを本気で楽しみましょう！」

スマイル

田島 逸男君

先日「わかば委員会」の懇親会の時、築瀬会長が新一万円札を持ってきて皆さんに見せびらかしていたのですが、私もつい同額で交換して欲しいと申し出たところ、あに図らんや、快く「いいですよ」との返事。早速自宅に持ち帰ったところ家族全員が写真を撮り、知人や友達にLINEして随分盛り上りました。懐の深い築瀬会長！本当にありがとうございました。でも今は賞味期限切れでしょうね？

峰松 俊夫君

本年度、色々あるかと思いますがよろしくお願ひ申し上げます。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	H C出席	MU	欠席	出席	出席率(%)
今週	29	7(4)	25	18	0	7	18	72.00%
出席免除	落丸、清水、野崎、渡邊							
先取MU	なし							
欠席	榎木田、鬼束、甲斐、黒岩、西島、花盛、村社							

理事会開催情報

令和6年7月3日 12:00～ ホテルシーズン日南 1F カープルーム

委員会開催情報

わかば奨学会委員会

令和6年7月5日 18:30～ 送客創人センター

【70周年記念式典記念事業】

= わかば奨学会 20周年記念発表 わかば奨学生スピーチ =

「将来の夢」 谷部希羽

(2020-2021年度 鹿児島大学在学中)

将来の夢は高校の数学教師になることです。この夢を目指したきっかけは10代の頃の体験が大きく影響しています。小学生の時、友達に勉強を教える機会があって、その時に友達から「教え方が上手」「先生に向いている」という言葉をかけてもらい、学校の先生とはどのような仕事なのかと興味を持ち始めました。中学校に進学し、勉強に励み、周りのクラスメイトから頼られるようになって、自分に自信がつき、先生になりたいと思うようになりました。そして高校生になり、数学に学んでいく中で数学の奥深さを知り、さらに数学に没入したいと考えるようになりました。この数学を学ぶことの楽しさを他の人にも知ってほしいと思い、数学の教師になることを決意しました。私は、数学以外にも他の教科も好きですが、数学には他にない魅力があると考えています。数学は昔の人が考えた公式や定義を元に、ある一つの問題を理論的に解決しますが、正確な答えが出た時使用した数学の知識が大きく関わり解く鍵になったと気づいた時の納得感は他の教科では、経験できないことであり、私にとってこの感覚がさらに数学と学問を深めたいという気持ちを加速していました。そして現在、鹿児島大学に進学し、数学を専門的に学んでいます。私が大学に進学した理由は大きく2つあり、一つ目は教員免許を取得するため、二つ目はより専門的な数学を学びたいと思ったからです。教師になった時、生徒からの質問に全て答えられるようになりたいと考えています。そのためには、大学の数学科で専門性の高い知識を身につけるべきだと思ったようになりました。実際に大学の授業は今まで受けたどの授業よりも進むスピードが速く感じたり、何もアイデアが思いつかない程難しい問題に出会ったりと大学で学ぶ数学の広大さや難解な部分をひしひしと感じています。しかしこれらのことわざ乗り越えない限り、自分が考える理想の教師像には届かないと思っています。大学生活も折り返し地点を過ぎ、着々と卒業に向かっていますが4年間で学んだことを教師になって活かせるようにこれからも勉強に励んでいきます。

「将来の夢」 谷口 真美

(2015-2016年度 都城市役所障がい福祉課勤務)

私は高校生の頃、看護師をしていた母の姿を見て看護師を目指し、高校卒業後は日南看護専門学校に入学しました。看護専門学校で看護の事について学んでいく中で、病気や怪我をした人の看護をするだけでなく、病気や怪我を予防し、健康に生活していくための健康指導を行う保健師にも興味をもつようになりました。保健師について調べていく中で、保健師は保健、医療、福祉、介護などの分野で、乳幼児から高齢者までのすべての住民を対象に保健指導や母子保健対策、健康相談など住民が健康で質の高い生活を送ることを支援するための保健活動を行って

いることを知り、私も地域住民が健康に生活できるような支援がしたいと思い、看護師の資格をとった後に、キャリアアップとして保健師を目指しました。看護専門学校在学中にいただきました「わかば奨学生」は、看護師になるためではなく、その先の保健師を目指すための学費として、大事に貯金しておりました。看護学校卒業後は、すぐに保健師の学校へは進学せず、保健師になるためにまずは看護師としての医療の経験と知識を身に付けたいと思い、東京の大学病院へ就職しました。看護師として3年実践経験を積み、その後埼玉県にある保健師の専門学校に1年通いました。学費は、看護師の時に貯めていた貯金といただきました「わかば奨学生」をすべて学費に使用させていただき、保健師専門学校在学中は、勉学に集中して励むことができ、保健師になることができました。

「わかば奨学生」をご支援していただいたおかげで、なりたかった保健師になることができました。ご支援していただいた方々に、心よりお礼申しあげます。現在は、都城市役所で保健師として働いています。市役所では、福祉関係の業務に携わらせていただき、看護師の時に培った経験や知識を活かして仕事をしています。今後は、保健師として経験を積みながら、地元日南市に貢献できるよう、また支援していただいた方々へ恩返しができるよう、地域住民の健康生活を支援できるような保健師を目指し頑張りたいと思います。ありがとうございました。

「将来の夢」マハト アディテヤ クマル

(2018-2019年度 高齢者総合福祉施設昭寿園勤務)

始めまして、自己紹介させていただきます。宮崎福祉医療カレッジ第19期卒業生のマハト アディテヤ クマルと申します。在学中は、学費や生活費をまかなうために、朝晩、アルバイトと勉強に追われ、時間的余裕がまったくない時期で、初めて留学生として「わかば奨学生」となった時は、本当に嬉しかったです。

わかば奨学生は生活費として使わせてもらい、その分アルバイトを減らして勉強する時間を増やすことができたので、とても助かりました。日南ロータリーに対しては本当に感謝しかないです。しかし、わかば奨学生になったとき、嬉しさとともに大きなプレッシャーも感じました。なぜなら、たくさん勉強をして、絶対に介護福祉士の国家試験に合格し、日南ロータリーへ良い報告をしなければいけないと思ったからです。

それから、1日1日を無駄にせず、深夜・早朝を問わず、最後まであきらめず勉強を継続した結果、国家試験に合格できた時は、人生で一番嬉しい瞬間でした。「継続は力なり」「努力は裏切らない」と信じることができました。卒業後は、昭寿園へ就職することになり、社会人になるにあたって、厳しい日本のルールや礼儀正しい日本人と一緒に仕事をしなければならないと考え、不安だらけで入社しましたが、現場の上司や同僚から「クマル君、大丈夫」と温かい声掛けをしていただき、安心して仕事に励むことができました。

新人のころは、日本語や仕事のミスもたくさんありましたが、一日も早く一人前の介護士として役に立てるよう、日々努力した結果、現在では昭寿園で初めての「外国人介護リーダー」として働いています。特に介護人材の少ない日南市において、介護を担う人材の1人になれたのではないかと思っています。現在は、宮崎福祉医療カレッジで同じクラスメートの留学生だった女性と1年前に結婚し、息子と家族3人で日南市に住んでいます。自然が豊かな日南で、仕事、家族のサポート、趣味の筋トレ、ドライブと、毎日充実した

日々を送りながら楽しく暮らしています。改めて、わかば奨学生としてサポートしていただいたことに感謝いたします。本当に有難うございました。ご清聴ありがとうございました。

「将来の夢」 新屋敷愛音

(2023-2024 年度 日南学園高等学校 日南看護専攻科生 1 年)

このたびは、創立 70 周年おめでとうございます。このような式典ならびに祝賀会に参加させていただくことができ心より感謝申し上げます。私は今年 4 月から日南看護専攻科生として入学し 2 ヶ月が過ぎようとしています。そんな私には将来の目標が 2 つあります。1 つ目は、小児科の看護師として働くことです。私には 15 歳年の離れた弟がいます。体調を崩し苦しそうな表情から、突然病気になってしまい色々な医療器具をつけられ、治療を受ける姿を想像することができます。その苦しさは経験されている人にしかわからない苦痛であり、言葉で表現することが難しいものだと思います。だからこそ看護師が心情をできる限り汲み取り、年齢・性別に関係なく患者様の意見を尊重することがとても大切だと思うので看護を介して力になれると良いなと思います。

これから実習でどのような気持ちなのだろうか、どうすればよいのだろうか等とたくさん悩み、考えると思います。しかし、患者様のことを思い考える時間はしっかりと向き合おうとしている証拠だと思うので大事にしたいです。自分の家族にも提供できる看護なのか、患者様にとって利益があり、親身になる存在でなくてはいけないことを忘れずに日々を過ごしたいと思います。2 つ目は海外で看護活動を行うことです。現在もメディアでは身体や心に傷を負い治療を受ける人々の姿があり、目を背けてはいけない現実が幾つもあります。そんな社会に私ができることは限られていますが、継続した学習を行い看護師になる覚悟を持ち、国家試験に合格することが今の私にできる最大の努力だと思います。私達が対象とする患者様は決して皆が目に見える傷だけではありません。そんな中、どのような場所でも患者様を救いたいという気持ちを持つ方々を見て私自身も医療を求めている場所へ自分が向かい看護を提供することができる看護師になりたいです。また、たくさんの経験を積んだ上で学ぶことができた知識や技術を生かし地元にきちんと貢献ができる様々なことに挑戦する気持ちを大切にし過ごしたいと思います。

「才能は長い努力のたまものである」この言葉を胸に私は日々勉学に励んでいます。出会った方、これから出会う方に対して最大限の敬意をはらい、看護師という職業を選んだ自分に誇りが持てるよう日々研鑽を重ねて参ります。最後になりましたが今回このような貴重な式典に参加することができ心より感謝申し上げます。今後ますますのご躍進を心からお祈りいたします。ご清聴ありがとうございました。

事務局〒887-0014 日南市岩崎 3-4-2 Itten 堀川ビル 2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：築瀬 敦 副会長：斎藤篤史 幹事：石灘寛樹 雑誌会報広報委員長：菊池希樹

雑誌会報広報委員会より

情報、原稿は、admin.pmy06@honda-auto.ne.jp まで送信してください。